

2023年3月10日（金）10:40-12:00

公募企画セッション：未来戦略立案のための先制的LCA

セッションの趣旨・概要

サステイナブルな社会に急激に変化することが希求されている現在、新たな技術の開発と実装が待たれている。科学的根拠に基づいて技術開発のターゲットを選択したり、社会への実装戦略を立案するためには、それら複数の技術の導入による社会の変化を取り込んだ環境負荷の定量評価が求められる。しかしながら、従来のLCAは、入出力が既に決まっているプロセスをシステム境界内に置き、境界外は時間的に不变として評価してきた。また、開発中技術の実装時のインベントリを推定する手法も明らかではない。そこで、開発中あるいは開発前の技術に対して、当該技術や周辺技術が社会実装される将来における評価により先制的に開発する技術やシステムを選択することが望まれ、そのための評価の枠組みが求められる。本セッションでは、将来社会とそこに至るシナリオを想定した先制的LCAの実施に必要な評価の枠組みを議論する場を持ちたい。

プログラム

10:40-10:50	境界条件としての将来の資源循環に基づくLCA 醍醐市朗（東京大学）、畠山博樹（産総研）
10:50-11:00	先制的にライフサイクルを管理するとは？ 菊池康紀（東京大学）
11:00-11:10	2050年カーボンニュートラル社会を先導するLCAを考える 南齊規介（国環研）
11:10-11:20	地域への社会実装に向けた新興技術のプロスペクティブLCA 竇毅、兵法彩、兼松祐一郎、菊池康紀（東京大学）
11:20-11:30	利用技術と外部要件のマトリクスに基づく産業間の 脱炭素化シナリオの検討 中谷隼（東京大学/国環研） 井伊亮太、長野尚也、永友佑（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
11:30-11:40	将来インベントリデータベース構築の課題 田原聖隆（産総研）
11:40-12:00	総合討論（20分） モデレーター：平尾雅彦（東京大学）

オーガナイザー：東京大学 先端科学技術研究センター 醍醐市朗